

今週のズバリ こう見る Analysis

特筆したいのは、ニューヨーク金先物市場で01年以來、当限が4月限より高い逆ザヤになった点だ。中国が春節で金を買っていない状況で逆ザヤになった理由は判らないが、現在の流れを見れば、ニューヨーク金は1,280〜1,300ドル方向に動く公算が大きい。

問題は日本の動向だ。安倍総理は靖国神社に参拝、ダボス会議でも中国など周辺諸国

NY市場の逆ザヤ形成に注目 政治リスクで株価上昇に狂い

GOLD 金



岡藤商事(株) 調査課 主席ストラテジスト 郷右近 要氏

目だ。今年日本、米国にとって2年目の上昇の年になるが、昨年の株式上昇のロジックがそのまま通じるとは思えない。米国は年内量的緩和策縮小が終了し、金利上昇をゆっくりに織り込んでいくだろう。

を刺激する発言をしている。外国人サイドから見れば、「日本は戦争したいのか」ということになり、強い国、安定した国のイメージが損なわれ、外国人が日本株を売る理由になる。政治的なリスクが株式市場にどのような影響を与え、金価格がどう反応するか注目したい。

目先一段の円高場面あり 長期的に110円目指す

FOREX 為替



中央大学研究所 客員研究員 坂田 豊光氏

円・ドル相場は昨年12月30日に1ドル1105円41銭をつけ、昨年10月8日の96円59銭から8円82銭のドル上昇(円下落)となった。アベノミクスの影響を受けて大幅な円安・ドル高を演じたわ

で、過去に例を見ない特殊な円安相場と考えられる。テクニカルでは、この揺り返しが出ると判断することが可能で、先週4日に1ドル1100円76銭まで円が上昇したが、再び円

高・ドル安へ振れるのではないか。長期波動で見ると、ドルの下値は100円割れの99円95銭で止まると考えている。短期的にはIMMで円ショート買い戻しがどこまで進んだのかを確かめると、基調が変化するタイミングを掴めるはずだ。ポジシオン調整一巡で円安へ反転すると判断出来るからである。その目安はIMM市場の円ネットショートが6万枚を下回った時と見て

良いだろう。過去にも6万枚を下回ると地合が転換するケースが多かった。この調整が終わり、再び円安・ドル高となれば、次の節目は103円台後半で、これをクリアして、109円までドルが上昇しておかしくない。その上の関門は心理的に見て110円の壁を抜けるかどうか。これを試すのは早ければ年内だが、来年以降になるケースも想定しておきたい。

海外と東京市場とは環境違う 再度相場の大きな流れを確認

GOLD 金



岡地(株) 支店 投資相談部 千葉 純平氏

ク金も最大の売り材料の大半を消化中ということと考えると、今年の年間安値が当面の高

ニューヨーク金と東京金は全く異なる点に留意しなくてはならない。つまり、ニューヨーク金の

お、目下、対ドル円相場の下値目標を100円50銭と予測しているが、日経平均株価の調整がどの程度なのか見極める必要がある、もう少し時間枠を取った方が良いと思う。本格的な底、そして新たな始動は秋口からと見て、目先は4,200〜4,300円は積極売り、3,950〜4,000円を積極買いとして50〜100円の利幅狙いで対処したい。